

だい かい くにたちし しさくすいしんぎょうぎかい
第10回 国立市しょうがいしゃ施策推進協議会

に ち じ 時	れいわ ねん (2023年) がつ 22日 (木) 午後7時00分～午後9時00分
ば し 所 場	くにたちしやくしょ かい だいち に かいぎしつ 国立市役所 3階 第一・二会議室
ぎ だ い 題	1. ぜんかい きぎん ぶりかえり 前回の議論の振り返り 2. ちゅうかんひょうか 中間評価まとめ
しゅっせきいん 出席委員 (けいしょうりやく 敬称略)	わたかいちょう てらしまらくかいちょう いのうえいん うがじんいん おおえだいいん こばやしいん たかはしいん 綿会長、寺島副会長、井上委員、宇賀神委員、大枝委員、小林委員、高橋委員、 つぼたにいん ほんだいいん まるやまいん みついいん ゆきさだいいん いいん (委員は50音順) 坪谷委員、本多委員、丸山委員、三井委員、行定委員
じむきょく 事務局	おおかわけんこうふくしふちょう おさだ しえんかちょう せきねかかちょう いしかわしゅき おかだ 大川健康福祉部長、長田しょうがいしゃ支援課長、関根係長、石川主査、岡田 しゅさ いわさきしゅにん うちやましゅじ まのしゅじ やまぐちしゅじ 主査、岩崎主任、内山主事、真野主事、山口主事
ほうちやうしゅ 傍聴者	0名

だい かい くにたちし しさくすいしんぎょうぎかい
第10回 国立市しょうがいしゃ施策推進協議会

わたかいちょう ほんじつ かいぎ ちやくせつさんか いいん みな めい さんか ごよてい かた
【綿会長】 本日の会議ですが、直接参加の委員の皆さんが11名、オンライン参加の御予定の方が

めい そばしまいん かいじょう こ いちおうていそくすう たつ
2名で、側嶋委員はもしかしたら会場にも来られるかもしれませんので、一応定足数に達しています

かいかい おも
ので開会したいと思います。

しだい だい かいくにたちし しさくすいしんぎょうぎかい ぎじろくかくにん はじ おも
それでは、次第2の第9回国立市しょうがいしゃ施策推進協議会の議事録確認から始めたいと思い

ねが
ますので、よろしくお願ひします。

【事務局】 最初に、事務局で6月1日付で人事異動がございましたので、そちらの御紹介をさせて

いただきます。しょうがいしゃ支援課の手当・給付係の主査として岡田が着任しておりますので

御紹介いたします。

【事務局】 ただいま御紹介いただきました手当・給付係主査の岡田と申します。本日はよろしくお

願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。そうしましたら、最初にお手元の資料の確認をよろしくお願

い

まず、議事次第、資料1、第8回のしょうがいしゃ施策推進協議会の議事録でございます。続きま

して、資料2、これは第9回の施策推進協議会の議事録でございます。その次、資料の3、国立市し

ょうがいしゃ計画中間評価（案）【2023年6月22日版】、A4縦のものでございます。続きまし

て、資料4、しょうがいしゃ計画中間評価表【2023年6月22日版】、A3の大きな紙でございま

す。最後、資料5、国立市しょうがいしゃ計画中間評価報告書（案）というものでございます。不足

のある方は事務局にお申し出いただけますでしょうか。大丈夫でしょうか。ありがとうございます。

そうしましたら、議事録の内容確認の前に1点、ホームページ用の掲載用の議事録における委員氏名

についての御相談がございます。委員より、ホームページ用の議事録から委員名を除いてほしい旨の

御要望がございました。今回、施策推進協議会のような市の附属機関の議事録は、私ども市の要綱

で原則として発言委員名を明らかにした議事録等を作成するものとされております。しかしながら、

こちらはあくまで原則でございまして、例えば、この取扱いについて、氏名を記載しない、もしくは

ごきぼう かた しめい きさい ほんきょうぎかい とりあつか き へんこう
御希望の方だけ氏名を記載しないなど、本協議会のほうで取扱いを決めていただくことによって変更
することができます。

げんざい じょう の ぎじろく たと しめい い かんたん けんさく
現在、インターネット上に載せた議事録そのものは、例えば、氏名を入れてしまうと簡単に検索で
きてしまうということでございますので、結果、委員名が公表されることによって会議での発言が
いいん じゆうかつたつ ぎろん ほんまつてんどう
委員さんのほうでしにくくなってしまいうようでは自由闊達な議論ができなくなってしまふ、本末転倒
になってまいりますので、そのあたりを踏まえまして、協議会として、委員の方が御希望される場合
にはホームページ用の議事録、要は、広く公表するものから委員名を削除した上で掲載するとの
とりあつか きょうぎかい ごしょうにん ねが
取扱いを協議会のほうで御承認いただけないでしょうかというものでございます。よろしくお願
いいたします。

わだかいちょう いま じむきょく きぼうしゃ じょう ぎじろく
【綿会長】 ありがとうございます。今、事務局からありました、希望者はホームページ用の議事録
からは委員名を削除することについて、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

とく こいぎ いいんかい しょうにん おち
特に御異議がないようですので、これで委員会としては承認したいと思います。

じむきょく こいぎ ぎじろく かくにん すず
【事務局】 御異議ございませんでしたので、議事録の確認に進ませていただきます。ありがとうご
ざいました。これまでの議事録につきましても、お申出いただきました委員の方については変更させ
ていただきまして、改めてホームページに掲載させていただきます。また、御同様の御希望がござい
ましたら事務局までお申出ください。よろしくお願いたします。

だい かい かい ぎじろく しゅうせいてん ごせつめい き あ
それでは、第8回、9回の議事録の修正点について御説明差し上げます。

じむきょく じむきょく いしかわ だい かいめ だい かいめ ぎじろく しゅうせいてん かくにん
【事務局】 事務局、石川でございます。第8回目、第9回目の議事録の修正点の確認をさせていた

だきます。大きく変わったところはないんですけども、1点、確認をさせていただきたい箇所がございます。資料2、第9回の議事録の19ページを御覧ください。19ページ、下段、井上委員の御発言の中の「Cの③です」と。続けて、「地域の人と一緒に触れ合い、スポーツできるようにしてほしいです」というような発言をいただいておりますが、こちらは資料4のCの③を見ていただくと、スポーツについての意見を言っていたくようなところになっているんですけども、これは、ふれあいスポーツができるようにしたいというような意味でよろしかったでしょうか。資料4、26ページのCの③の1と2になるんですけども、今回、我々事務局のほうで、ふれあいスポーツをできるようにしてほしいというように形でCの③の2に入れさせていただいているんですけども、こちらでお間違いなかったでしょうか。

【井上委員】 地域の人と一緒にふれあいスポーツできるようにしてほしいです。「ふれあいスポーツできるように」でいいです。

【事務局】 ありがとうございます。では、資料4に今、地域の人と一緒にふれあいスポーツができるようにしてほしいという意見を入れさせていただいておりますので、こちらもこのままでよくて、19ページの「地域の人と一緒に触れ合い」の、この「触れ合い」を漢字ではなくて「ふれあいスポーツができるようにしてほしいです」というように形で修正させていただければと思います。ありがとうございます。

そのほか、委員の皆様から訂正が必要な箇所がございますでしょうか。ありましたら教えていただければと思います。

【宇賀神委員】 資料2の第9回のところなんですけれども、すみません、私は欠席をしております

て、出席委員のところにも名前が入っているので、それを訂正していただきたいと思ひます。

【事務局】 承知いたしました。申し訳ございませんでした。

そのほか、いかがでしょうか。

【井上委員】 15ページ、10行目、「名簿詐欺」ではなく「泥棒詐欺」です。

【事務局】 ありがとうございます。井上委員の御発言で、「名簿詐欺を心配で名簿を出したくない
です」というふうに記載があるところの「名簿詐欺」ではなくて「泥棒詐欺」というような形
でよろしいでしょうか。

【井上委員】 「泥棒詐欺」でよろしいです。

【事務局】 ありがとうございます。では、この「名簿詐欺」の部分を「泥棒詐欺」というような形
に変えさせていただければと思ひます。

ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。議事録につきましては、こちらの内容で、今いただきました修正点を訂正
させていただいた上でホームページに記載をさせていただきます。

また、前回同様のお願いではございますが、議事録作成を行う都合上、御発言の際は必ず挙手い
ただき、会長が指名の後にお名前をおっしゃっていただいでから御発言いただくように、引き続きよ
ろしくお願ひいたします。

【綿会長】 ありがとうございます。議事録を確定したいと思ひます。

それでは、^{ぜんかい} 前回の^ふ 振り返りに^{かえ} 行きたいと思^いいますので、^{おも} 次第の^{しだい} 2の^{だい} 第9回^{かいくにたちし} 国立市^{しさく} しょうがいしゃ 施策

^{すいしんきょうぎかい} 推進協議会^ふ の^{かえ} 振り返りを^{ねが} お願いしたいと思^いいます。^{おも} 事務局、^{ねが} お願いします。

^{じむきょく} 【事務局】 ^{ぜんかい} では、^{だい} 前回、^{かい} 第9回^ふ の^{かえ} 振り返りを^{おも} させていただきます。^{ぜんかい} 前は^{しりょう} 資料3^{くにたちし} の^{しりょう} 国立市^{しりょう} しょうがい

^{けいかくちゅうかんひょうか} いしゃ^{あん} 計画^{さいご} 中間^{いー} 評価^{ごしんぎ} (案)、^{こんかい} 最後の^{しりょう} E^{ぜんかい} まで^{しりょう} 御審議^{しりょう} いただいた^{しりょう} ところです。^{ぜんかい} 今回は^{しりょう} 資料3^{しりょう} の^{しりょう} うち、^{ぜんかい} 前回

^{ごぎろん} 御議論^{なか} の^{しゅうせい} あった^{てん} 中で^{ちゅうしん} 修正^{ごせつめい} の^{てもと} あった^{しりょう} 点を^{しりょう} 中心^{しりょう} に^{しりょう} 御説明^{しりょう} いたします。^{しりょう} お手元^{しりょう} の^{しりょう} 資料3^{しりょう} と^{しりょう} 4^{しりょう} を^{しりょう} 御覧^{しりょう} くださ

^{えー} い。A4^{えー} の^{よこ} こちらと、^{おもて} あとA3^{えー} の^{おもて} 横^{えー} の^{おもて} 表^{えー} で^{おもて} ござ^{えー} います。

まず、^{いこう} Aの^{ぜんかい} ④^{ぎろん} 以降^{えー} が^{えー} 前回^{えー} 、^{おもて} 議論^{えー} させて^{おもて} いただいた^{おもて} もの^{おもて} になります。^{えー} Aの^{えー} ④^{おもて} ですので、^{えー} A3^{おもて} の^{おもて} 表^{えー} です

と11^{しりょう} ページ^{しりょう} 、^{めいこう} 資料3^{しりょう} ですと^{しりょう} 2^{しりょう} ページ^{しりょう} 目^{しりょう} 以降^{しりょう} になります。

^{しりょう} 資料4^{えー} 、^{おもて} A3^{えー} の^{えー} 表^{えー} の^{えー} ほう^{えー} で、^{えー} Aの^{えー} ④^{えー} につき^{えー} ましては、^{えー} 本体^{えー} の^{えー} 総合^{えー} 評価^{えー} については^{えー} 特^{えー} に^{えー} 変更^{えー} せず^{えー} に、

11^{ばん} ページ^よ の^{ごいけん} Aの^{おも} ④^{おも} の^こ 3^{ちいき} 番^{ちいき} の^{ちいき} ところ^{ちいき} に^{ちいき} 寄せ^{ちいき} られた^{ちいき} 御意見^{ちいき} 、^{ちいき} どん^{ちいき} な^{ちいき} 重^{ちいき} い^{ちいき} しょう^{ちいき} が^{ちいき} い^{ちいき} が^{ちいき} ある^{ちいき} 子^{ちいき} ども^{ちいき} も^{ちいき} 地^{ちいき} 域^{ちいき} の

^{がっこう} 学校^ゆ に行^い き、^{たいせい} 生きて^{かたち} いける^{にゅういんじ} ような^{しえん} 体制^{しえん} づくり^{しえん} と^{しえん} い^{しえん} う^{しえん} ような^{しえん} 形^{しえん} と、^{しえん} あと^{しえん} 入院^{しえん} 時^{しえん} の^{しえん} 支^{しえん} 援^{しえん} につ^{しえん} い^{しえん} て^{しえん} の^{しえん} お^{しえん} 話^{しえん}

^い を^い 入れ^い させ^い いただ^い いて^い おります。^い 取り^い あ^い え^い ず、^い Aの^い 最後^い まで^い 行^い かせ^い いただ^い きます。

^{えー} Aの^{えー} ⑤^{えー} 、^{えー} この^{えー} 次^{えー} で^{えー} ござ^{えー} います。^{えー} A3^{えー} の^{えー} ページ^{えー} ですと^{えー} 12^{えー} ページ^{えー} で^{えー} ござ^{えー} います。^{えー} Aの^{えー} ⑤^{えー} 「^{えー} 防^{えー} 犯^{えー} に関^{えー} する

^{しえん} 支^{しえん} 援^{しえん} を^{しえん} 充^{しえん} 実^{しえん} させ^{しえん} ます」^{しえん} で^{しえん} ござ^{しえん} います。

こちら^{ひょうか} につ^{ほんぶん} き^{ほんぶん} ま^{へんこう} して^{へんこう} も、^{いいん} 評価^{いいん} の^{いいん} 本^{いいん} 文^{いいん} につ^{いいん} き^{いいん} ま^{いいん} して^{いいん} は^{えー} 変^{えー} 更^{えー} せず^{えー} に、^{えー} 委^{えー} 員^{えー} の^{えー} 意^{えー} 見^{えー} につ^{えー} き^{えー} ま^{えー} して^{えー} は^{えー} A3^{えー} の

^{おもて} 表^{えー} の^{えー} Aの^{えー} ⑤^{えー} の^{えー} 1^{えー} 、^{えー} 一^{えー} 番^{えー} 上^{えー} で^{えー} ござ^{えー} います。「^{えー} く^{えー} に^{えー} た^{えー} ち^{えー} め^{えー} ー^{えー} ル^{えー} 等^{えー} を^{えー} 活^{えー} 用^{えー} し^{えー} た^{えー} 情^{えー} 報^{えー} 提^{えー} 供^{えー} 」^{えー} の^{えー} 中^{えー} に^{えー} 「^{えー} す^{えー} べ^{えー} て

^{しりょうほう} の^{かん} 情^{とうじしゃ} 報^{しりょうほうていきょう} につ^{しりょうほう} いて^{しりょうほう} 当^{しりょうほう} 事^{しりょうほう} 者^{しりょうほう} が^{しりょうほう} わ^{しりょうほう} かる^{しりょうほう} 情^{しりょうほう} 報^{しりょうほう} 提^{しりょうほう} 供^{しりょうほう} の^{しりょうほう} 充^{しりょうほう} 実^{しりょうほう} 」^{しりょうほう} ですと^{しりょうほう} か、「^{ちいき} 地^{あんしん} 域^く で^く 安^く 心^く して^く 暮^く ら^く した^く い^く だ^く す」

^{ついき} という^{ついき} ところ^{ついき} を^{ついき} 追^{ついき} 記^{ついき} させ^{ついき} いただ^{ついき} いて^{ついき} おります。

その次、Aの⑥でございます。A3の表を1枚めくっていただきまして13ページでございます。

本文中については、変更はございません。

意見ということで寄せられていましたところにつきましては、Aの⑥の1、「さまざまなことを

当事者含めて考えられる。防災訓練を行っていく」というような御意見が寄せられておりましたの

で、こちらに掲載していただいております。

続きまして、No.2のところにも「名前、住所、電話番号を悪い人に見られたくない」というとこ

ろが、こちらは前回の議論の中で委員の方から御発言いただいたものを追記させていただいております。

す。

Aの⑥まで終わりましたが、そこまでで御意見等はございますでしょうか。

【綿会長】 いかがでしょうか。振り返りですので、前回意見を出したものが載っているかどうかの

確認をしていただきたいということでございますが、特に問題ないようですので次をお願いしたいと

おもいます。

【事務局】 ありがとうございます。そうしましたら、施策目標のBでございます。資料3ですと4

ページ目以降になります。A3の表につきましては16ページ以降でございます。Bの①「インクル

ーシブ教育システムを進めます」というところでございます。

総合評価本文中につきましては変更はございません。

総合評価に対する御意見として寄せられておりましたインクルーシブ教育を全ての子どもが同じ

教室で学ぶことというようなお話があったかと思うんですけれども、こちらについてはBの①の16

ページのNo.2に入れさせていただいております。

また、委員の御発言として議論がございましたところ、これからインクルーシブ教育ができるようにしてくださいというような御意見につきましてもこちらの中に入れてあります。

続きまして、Bの②でございます。A3の紙ですと18ページになります。

これも同じく本文中は変更がございませんので、総合評価につきまして寄せられた御意見につきまして18ページのNo.1、「当事者の立場に沿った窓口対応、わかりやすい冊子や書類を作成してほしい」というところに載せさせていただいております。

また、前回の御議論の中でございました、委員から「手当について分かりやすく伝えてほしい」というような御意見もございましたので、そちらにつきましてもここに載せさせていただいております。

続きまして、A3のページで19ページ、Bの③でございます。「しょうがいのある人の雇用を促進させます」という基本施策に対する評価でございます。

こちらは、総合評価は本文中につきましては変更はございませんが、評価に対する御意見がございました。こちらにつきましては、A3の19ページのNo.1、そこに「地域参加型介護サポート事業によって、介護が必要なしょうがいしゃが、介護を受けながらも働けるような仕組み作りをしてほしい」ということでございましたので、こちらに入れさせていただいております。

また、議論の中で御発言がございました「介護者を入れて働けるようにしてほしい」というところも同じくNo.1のほうに入れさせていただいております。

続きまして、Bの④、A3のページで20ページでございます。「しょうがいの特性に応じた就労

を「支えます」というようなものでございます。

こちらにつきましても同じく総合評価については変更ございませんで、そちらに対しての御意見として、「地域参加型介護サポート事業によって、介護が必要なしょうがいしゃが、介護を受けながらでも働けるような仕組みづくり」というような御意見がございましたので、こちらにつきましてもBの④の1番、20ページのN.1に協議会意見として入れさせていただいております。

続きまして、Bの⑤「しょうがいのある人の福祉的就労を支えます」というものでございます。

こちらにつきましても総合評価については変更せず、原文のままでございます。ただ、御意見がございました「低賃金、社会のシステムから人権無視の福祉的就労を無くしていく」というような御意見がございましたので、こちらにつきましてもA3の21ページのN.1に入れさせていただいております。

同じく、前回の御議論の中で委員の方の御意見もございました「しょうがいも、きちんとお金ももらえるようにしてほしい」という御意見がございましたので、こちらにつきましてもN.1に反映をさせていただきます。

Bは以上でございます。

【綿会長】 Bのところで前回御発言された方で載っていないものとか、表記の仕方が少し違うとかというものがもしあれば教えてください。振り返りですので、前回のものが入っているかどうかの御確認を含めてお願いできればと思います。よろしいでしょうか。

それでは、Bのところも協議会として確認したいと思います。

つづ ねが
続いてお願いします。

【事務局】 施策目標のCでございます。「地域の中で障害のある人が当たり前に出会い、関わり、

そだ だれ とも い まち くにたちし めざ しりょう えー
育ちあい、誰もが共に生きていける街・国立市を目指します」というものでございます。資料のA4

のものにつきましては6ページ以降になります。同じくA3の資料4につきましては22ページにな
ります。

しー しょうがい ひと いどう すす
Cの①「障害のある人が移動しやすくなるよう、バリアフリーのまちづくりを進めます」というも
のでございます。

こちらにつきましても、そうごうひょうか ほんぶんちゅう へんこう総合評価の本文中は変更ございません。

ただ、ごいけん御意見に「しょうがいしょうがいがある子どもがこ ちいき こと地域の子と一緒いっしょ づうがくに通学できるようにしてほしい」

というものがございましたので、こちらにつきましてもA3の紙22ページ、CのNo.1の「えー かみ しー なんばー いどうしえん移動支援

じぎょう なか いちばんさいご い事業」の中いの一番最後に入れていただいております。

しー ①、もう1点、てん ごいけん御意見がございました。すみません、ぬそちらが抜けておりました。A3の紙、

ごらん24ページを御覧ください。そうごうひょうか たい ごいけん総合評価に対する御意見として、「くにたちし だんさ けいしゃ国立市の段差、傾斜などのバリアフリ

てんけん ぜんし あ どうじしゃ ちゅうしん おこな一点検を、全市を挙げて、当事者を中心に行っていく。も ひと いしょうがいを持っている人がどこにでも行

なに のける、何にでも乗れるように」というような御意見がございましたので、こちらは24ページのNo.8

けいさいに掲載させていただきます。

つづ ②、しーCの②「かつどう ぶんかかつどう じゅうじつレクリエーション活動・文化活動を充実させます」というものでございます。

えー かみA3の紙ですと、25ページでございます。

こちらそうごうひょうかも総合評価げんぶんは原文ごいけんのままかつどうでございまして、御意見として、「すべてのレクリエーション活動
を、しょうがいしゃおこなだけで行ぶんわず、みんなかでやる文化活動ごいけんに変えていく」というような御意見がござ
いました。こちらえーにつきましては、A3の25ページなんばーのNo.3、「しょうがいのひとある人はいりよに配慮ぶんかした文化
芸術活動い」というところいに入れさせていただきます。

その次つぎ、Cの③しーでございまして。「スポーツしたに親かんきょうせいびしむ環境整備ささを支えます」というものでございまして。

こちらそうごうひょうかについても総合評価げんぶんは原文ごいけんのままかつどうでございまして。

御意見ごいけんといたしまして、「全すべてのスポーツ活動かつどうを、しょうがいしゃおこなだけで行かつどうわず、みんなでやる活動
に変えていく」というのがかございましてので、こちらえーはA3の紙かみの26ページなんばーのNo.1、「しょうがい
のある人ひとのスポーツ活動普及かつどうふきゅうや振興支援しんこうしえん」というところいに入れさせていただきます。

Cしーは以上いじょうでございまして。

【綿会長わたかいちょう】 いかがしーでしょうか。Cのところついきの追記ぜんがい、前回の発言はつげんが入はいっているかどうかかくにんの確認ねがをお願い
いたします。大丈夫だいじょうぶですか。

ありがとうございます。それでは、協議会きょうぎかいとして確認かくにんしたいと思おもいます。

それでは、次つぎを。

【事務局じむきょく】 ありがとうございます。続つづきまして、施策目しやくもくひょう標でいーのDでございまして。「だれもが互たがいに
思いや考おもえを伝えあかんがい、わかつたりあうことのできる街・国立市まちを目標くにたちしします」というものでございまして。

Dでいーの①、A4の紙えーですと、7ページ目かみになります。「だれもが情報サービスじょうほうを受け取りうやすく、
また発信はっしんしやすいよう環境かんきょうづくりを支ささえます」というものでございまして。A3の紙えーですと、27ペー

シになります。

総合評価の文案そのものは変更ございませんでしたが、御意見がございましたので、A3の紙、27ページのNo.2に「まず、国立市職員が、情報提供支援を必要とする全ての人（しょうがいしゃなど）が、それぞれの人がどんな支援が必要かを学び、しっかりと情報提供ができるようにしてほしい」というものを入れさせていただいております。

続きまして、Dの②でございます。A4の紙を1枚おめくりいただきまして、8ページ目にございます。Dの②「どのような障害があっても、意志が伝えられるよう支援を充実させます」というものでございます。

こちらにつきましても総合評価は原文のままでございますが、御意見がございましたので、そちらをA3に追記させていただいております。

A3の29ページ、No.2でございます。「手話講習会支援事業」というところに、Dの中で手話通訳が必要であるというような御意見が前回の中でございましたので、そちらを入れさせていただいております。

また、A3の紙を1枚めくっていただきまして30ページでございます。こちらにつきましても全体のところということで総合評価に対する御意見がございまして、先ほどの内容と同種ではございますが、市の職員が、しょうがいしゃの方がどんな支援が必要かを学ぶというところの項目を入れさせていただきます。

続きまして、Dの③でございます。「どのような障害があっても、自らの意思を決定できるよう

支援を充実させます」というものでございます。こちらにつきましては、A3の紙、31ページでござ

います。

総合評価本文につきましては変更ございませんので、このままでございます。

Dの③につきまして御意見がございましたので、A3の紙、31ページのNo.3を御覧ください。

先ほどと同種でございますが、市の職員が、情報提供等についてしっかり学んで、どういった支援が必要なんだということを行って下さいというのが1点と、あと、こちらは前回の議論の中で

御意見がございました「意思決定に関する支援の充実がなかなか進んでいない部分があるので、調査をしながら進めてほしい」というような御意見がございましたので、そちらにつきましてもこの中に

入れさせていただいております。

Dにつきましては、以上でございます。

【綿会長】 いかがでしょうか。Dのところで前回の御発言が入っているかどうかの確認をお願いします。特に大丈夫でしょうか。

それでは、Dの確認を協議会では確定とします。

それでは、Eをお願いします。

【事務局】 施策目標のEでございます。A4の資料3は9ページ目以降でございます。施策目標のE「福祉のまちづくりを進め、ソーシャルインクルージョン・みんな一緒のまち・国立市を目指します」というものでございます。

一番最初、Eの①「障害のある人の権利を守り、虐待を防ぎます」というものでございます。こ

ちらにつきましては^{えー} A3の紙、^{かみ} 32ページ、^{いー} Eの①の^{なんばー} No.1でございます。

こちらに^{そうごうひょうか} 総合評価の^{あん} 案についての^{ごいけん} 御意見がございましたので、^の 載せさせていただいております。

「^{ぎゃくたい} 虐待の^{とら} 捉え方、^{かた} 立場、^{たちば} 見方、^{みかた} それぞれ^{ちが} 違いがある。関わる時には^{かか} きちん^{とき} と話し合い、^{はな} 虐待^あ に対する^{ぎゃくたい} 虐待^{たい} に対する

^{かんが} 考え方を^{かた} 統一して^{とういつ} 当た^あ たらなければいけない」というものでございます。また、「^{しょうがい} しょうがい^し 児はな

^{はや} 早く^{おや} 早く^{かいご} 親からの^{じりつ} 介護を^{のぞ} 自立して^{はなし} いくことが望ましい」というようなお話しもございました。また、

^{ぎろん} 議論の中^{なか} でも^{ぎゃくたい} 虐待は^{だめ} 駄目ですということを^{しやくしょ} 市役所から^し みんなに^{ごいけん} 知らせてほしいという御意見もござ

いましたので、^{なんばー} No.1に^{はんえい} 反映させていただいております。

その次、^{つぎ} Eの②^{いー} でございます。A3の紙ですと、^{えー} 1枚^{かみ} めくっていただきまして^{まい} 33ページでございます

す。「^{しょうがい} すべての^{りかい} 障害への^{すす} 理解を進め、^{しょうがい} 障害を^{りゆう} 理由とする^{さべつ} 差別をなくします」という項目^{こうもく} でございます

す。A3の紙、^{えー} 33ページ^{かみ} の^{なんばー} No.1「^{しょうがい} 障害者^{しや} 週間の^{しやうかうかん} イベント^{かいさい} 開催」の中に、^{なか} 総合評価^{そうごうひょうか} の^{ぶんあん} 文案^{ぶんあん} について

^{へんこう} は変更^{たい} ござい^{ごいけん} ません^{じんけん} でしたので、^{はやく} それに対する^{つく} 御意見として、「^{じんけん} 人権博物館^{はやく} を早く^{つく} 作る^{でまえ} こと。出前^{じゆぎょう} 授業

^{どうじしゃ} で、^し 当事者の^{ごいけん} ことを^{ごいけん} 知^{ごいけん} ってもら^{ごいけん} うこと」というような御意見がございましたので、^{けいさい} こちらに^{けいさい} 掲載させ

ていただいております。

同じく^{おな} Eの②^{いー} なん^{えー} ですけども、^{かみ} A3の紙^{まい} を1枚^{まい} めくっていただきまして、^{まい} 34ページ^{まい} でございます

す。^{なんばー} No.4、^{いけんらん} こちらの^{いちばん} 意見欄^{さいご} の一番^{さべつ} 最後^{へんけん} に、「^{そんざい} 差別、^く 偏見^く が存在^く するから、^く しょうがい^く しゃは^く 暮らし

^{とく} にくくなっている。そう^{とく} いったものを^{しっし} なくすための^{こえ} 取組^{こえ} を^{ひろ} 実施^{ひろ} してほしい、^{ひろ} 声なき^{ひろ} 声を^{ひろ} 拾^{ひろ} ってほしい」と

というような^{ごいけん} 御意見^{ごいけん} がございましたので、^{けいさい} こちら^{けいさい} については、^{けいさい} こちらに^{けいさい} 掲載^{けいさい} を^{けいさい} させていただ^{けいさい} いており

ます。^{きょうぎかい} こちらは^{なか} 協議会^{ごいけん} の中^よ での^{ごいけん} 御意見^{ごいけん} として^よ 寄せ^よ られたもので^よ ござ^よ います。

つづ いー ごうりてきはいりよ てってい すす えー
続きまして、Eの③「合理的配慮の徹底を進めます」というものでございます。A4ですと、10ペ

めいこう えー
ージ目以降になります。A3ですと、35ページになります。

そうごうひょうか ぶんあん へんこう
総合評価の文案につきましては、変更はございません。

よ いけん の えー かみ なんばー
寄せられた意見を載せさせていただいているのがA3の紙35ページ、No.2でございます。

いちばんさいご ごうりてきはいりよ ひつようせい とうじしゃ わ ほんにん ひつよう ごうりてき
一番最後の2つでございます。「合理的配慮の必要性は、当事者しか分からない。本人が必要な合理的

はいりよ おもて ご けいかく かいぎ
配慮は表にはわからない」ということでございます。その後、「しょうがいしゃ計画の会議でも、

とうじしゃ ひつよう はいりよ おお ひと とうじしゃ おち
当事者にとって必要な配慮がなされていないことがある。多くの人は当事者にならないと思っている」

というところでございます。「配慮は、すべての当事者に確認しながら、困らないような状態を作っ

てほしい」という部分でございます。こちらに載せさせていただいております。こちらは御発言でも

ございまして、事前の意見としても載せられていたものでございますが、同種として載せさせていた

だいております。

おな いー えー つぎ けいかく ほん きょうぎかい
同じくEの③でございますが、A3の次の36ページに、計画のわかりやすい版について、協議会の

ぎろん なか こいけん よ けいさい ほん はや
議論の中で御意見が寄せられておりますので掲載させていただいております。わかりやすい版を早く

つくってほしいという御意見がございましたので、No.5のところに入れさせていただいております。

す。

つづ いー しょうがい ひと く すす
続きまして、Eの④「障害のある人が暮らしやすくなるよう、バリアフリーのまちづくりを進めま

す」というものでございます。

こちらにつきましても、総合評価は原文のままでございます。

えー A3の37ページ、Eの④のNo.2、バリアフリーについての御意見が協議会の中でございましたので、こちらを載せさせていただいております。バリアフリーをどんどんやってほしいという御意見がございましたので、こちらに載せております。

つづ 続きまして、No.3に総合評価（案）につきましての御意見が事前に寄せられておりました。「バリアフリーは、より重度のしょうがいしゃを基準として考える必要がある。最重度のしょうがいしゃが利用できるような環境は、健全者も軽度のしょうがいしゃも利用しやすいものとなる」という御意見がございましたので、こちらにつきましてはNo.3に反映させていただいております。

つづ 続きまして、Eの⑤でございます。A3のペーパーですと38ページ目以降でございます。「障害のある人を支える人材を確保し、育てていきます」というものでございます。

いー Eの⑤につきましても、総合評価の文案は原文のままとなっております。

じぜん よ 事前に寄せられた意見といたしまして、「国立介護をブランド化する方向性で、市、社協と当事者で話し合っている。介護を必要としながら、地域移行について考えていく」というような御意見がありましたけれども、こちらにつきましてはNo.1に載せさせていただいております。

つぎ いー その次、Eの⑥でございます。「ネットワークづくりを進めます」というものでございます。A4の紙、11ページ目です。A3ですと、39ページでございます。

こちらについても、総合評価については原文のままでございます。

じぜん よ 事前に寄せられた意見と、当日の御意見も同じょうなものがございますが、「すべての考え方に当事者が地域とつながれるような企画が必要です」というものがございますので、そちらについて

は39ページのNo.3に掲載させていただいております。

続きまして、Eの⑦、一番最後でございます。「新たな取り組みについて調査や研究を進めます」

というものでございます。

こちらにつきましては、総合評価は原文のままでございますが、事前に寄せられた御意見がございましたので、そちらについては40ページのEの⑦のNo.1につけさせていただいております。ほかの意見でも同じようなものがございまして、「しょうがいしゃが参画しやすい会議の持ち方を確立していく必要がある。参加しづらくなってしまっている」というところがございました。また、「インクルーシブ教育の中で特別教育の場に追いやる実態と同じである」という形で、阻害されているよ
うなところが御意見で寄せられましたので、こちらについてもそのまま載せさせていただいております。

Eは、ここまでで以上でございます。

【綿会長】 では、Eのところで振り返りのほうの御自分の意見も含めて御確認をいただければと思
いますが、いかがでしょうか。

特に御意見がないようでしたら、これで協議会としての評価が全て確定したという形で、協議会と
して確定したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは次に、中間評価報告書のほうをよろしくお願ひします。

【事務局】 ありがとうございます。そうしましたら、中間評価報告書についてでございます。お手元

の資料5、A4の横の表でございます。こちらを御覧ください。先ほどの振り返りにつきまして、

中間評価、AからEにつきまして確定させていただきましたので、報告書全体について御説明をさせていただきます。

資料5、しょうがいしゃ計画中間評価報告書（案）を御覧ください。では、お手元の資料を1枚め

くっていただきまして、「はじめに」というところで、こちらはまとめという形なんですけれども、

国立市では、しょうがいのある人があたり前に暮らすまちにするための、市民誰もがあたりまえに暮

らすまち・国立市の実現を基本理念に、平成29（2017）年度から令和5（2023）年度の間にお

ける国立市のしょうがいしゃのための基本的な計画として本計画を策定しました。しょうがい福祉に

関する各施策を展開してきましたというものでございます。しょうがいしゃ施策推進協議会は、当該

計画の中間年に際しまして、その達成状況の点検と評価を行うべく、令和4年3月に市長より諮問

を受け、本日も含め合計10回の会議を経て作業を進めてきました。その結果がまとまりましたので

御報告しますというものでございます。

1枚めくっていただきまして、これ以降は目次になります。ページ数を振っておりますが、最終的

には再度確認させていただきます。

しばらくめくっていただきまして、一番下の「1ページ」となっているものを御覧ください。国立市

しょうがいしゃ計画、こちらは従前、一番最初のあたりに御説明させていただきましたが、報告書そ

のものは、前提条件として全く知らない方も御覧いただくというものがございますので、一番最初

は、しょうがいしゃ計画について、どういったものかというのを御説明差し上げているものでござい

ます。

基本理念きほんりねんといたしまして、「しょうがいのある人ひとがあたりまえくに暮らしくにするための、市民誰しみんだれ

もがあたりまえくに暮らしく・国立市の実現じつげんに向けて」というものでございます。

基本理念きほんりねんにつきましては、以前いぜんに御説明ごせつめいしましたとおりでございませけれども、計画けいかくの基もとになる

「一番大切いちばんたいせつにすること」が基本理念きほんりねんでございませ。

それ以降いこうは、国立市くにたちしでは、あたりまえくに暮らしく宣言せんげんと、また、その条例じょうれいについて施行しこうしており

ますということで、あたりまえ宣言せんげんから条例じょうれいまでの取組とりぐみを国立市くにたちしにおけるしょうがい福祉ふくしの進すすんで

いく方向ほうこうを指さし示しめすものと捉とらえ、条例じょうれいの前文ぜんぶんを読み解よいて、このような基本理念きほんりねんをつくっていったと

いうものでございませ。こちらけいかくは計画けいかくのほうに載のせさせていただいたものを若干じやっかんかる軽くさせていただ

いて載のせさせていただいてございませ。

1枚まいめくっていただきまして、2ページ目めでございませ。計画けいかくの期間きかんでございませ。こちらは2017

年度ねんどから2023年度ねんどまでの7年間ねんかんでございませ。

同じく計画けいかくの位置づけいちにつきましては、以前いぜん御説明ごせつめいしたとおりでございませが、障害者計画しょうがいしゃけいかくは、

障害者基本法しょうがいしゃきほんほうを根拠こんきよに策定さくていする計画けいかくです。主に、しょうがい福祉施策推進ふくししやくすいしんのための理念りねん、方向性ほうこうせいを定

めるものです。国くにでは内閣府ないかくふが障害者基本計画しょうがいしゃきほんけいかくを定めており、都道府県とどうふけんはこれを受けて東京都障害者

計画けいかくを策定さくていしてございませ。市町村しちやうそん、国立市くにたちしにおいてはこれを基本きほんとして、市町村しちやうそんごとのしょうがいのあ

る人ひとの状じやうきやうとう況ふ等を踏しょうがいしゃけいかくまえ障害者計画さだを定めることとされてございませというものでございませ。

1枚まいおめくりいただきまして、こちらいぜんも以前いぜん御説明ごせつめいしましたとおり、本計画ほんけいかくは、基本構想きほんこうそう・基本計画きほんけいかく

しょういけいかく かんれんけいかく せいごうせい も くにたちし ふくしけいかく ちょうわ たも さくてい
を上位計画として、関連計画との整合性を持ち、国立市しょうがい福祉計画と調和を保ちながら策定

けいかく し きほんこうそう きほんけいかく かんけいけいかく い か
される計画でございます。市の基本構想ですとか基本計画、関係計画は以下のとおりとなりますとい

うものでございます。こちらもいぜん、市としてごせつめいさあ
御説明差し上げたものでございます。

ねんじ じゃっかんさいしゅうてき か さくていどき
これは、年次とかは若干最終的には変わっているものもあります。策定時のものということにな

っております。

つづ ほんすいしんきょうぎかい
続きまして、1ページめくっていただきまして4ページ目でございます。本推進協議会についての

ごせつめい くにたちし しさくすいしんきょうぎかい
御説明でございます。「国立市しょうがいしゃ施策推進協議会について」というものでございます。

せっち ひょうか もくてき くにたちし けいかくさくていじ けってい しさく
設置・評価の目的でございます。国立市しょうがいしゃ計画策定時に決定した施策について、2020

ねんどしゅうりょうじ じっしじょうきょう はあく てんけん しんちよく とどこお しさく
年度終了時における実施状況を把握、点検するとともに、進捗が滞っている施策がございまし

けいかくてき すいしん くだいてき ほうさくどう しんぎ もくてき
たら計画的に推進していくための具体的な方策等を審議することを目的としております。

はってんてき じっし かんが しさく かだい あき じきけいかく
また、発展的に実施すべきと考える施策につきましましては、その課題を明らかにし、次期計画などに

はんえい さまさま こいけん
反映させていくというものでございます。様々な御意見をいただいたということでございます。

つづ きょうぎかい かいさいけっか ごらん ちゅうかんひょうか ほんじつ ぜん
続きまして、協議会の開催結果でございます。5ページを御覧ください。中間評価、本日まで全

かい きょうぎかい かいさい みなさま こしんぎ だい
10回の協議会を開催させていただきまして、皆様に御審議をいただいたというものでございます。第

かい ねん がつ にち だい かい ほんじつ
1回は2022年3月29日から第10回が本日というものでございます。

つづ め いいん めいぼ おんじゅん
続きまして、6ページ目でございます。委員の名簿をつけさせていただいております。50音順で

い
入れさせていただいております。

つづ め ちゅうかんひょうか すす かた はつ ないよう
続きまして、7ページ目でございます。中間評価の進め方でございます。こちらは初の内容となり

ます。

ひょうか すす かた くにたちし けいかく きほんしさく しんこうかんり
評価の進め方につきましては、国立市しょうがいしゃ計画の基本施策における143の進行管理、

てんけん ひょうか しひょう じぎょうおよ かんれんしさく えー かみ ぐたいてき とりくみ い
点検・評価の指標とする事業及び関連施策、A3の紙ですと具体的な取組と言わせていただいております

ぐたいてき とりくみ かたち よ か
ましたので、具体的な取組という形で読み替えさせていただいております。ここにつきましては、まず

たんとうか かだい ほうしんなど さだ ほんすいしんきょうぎかい ぎろん
担当課にて課題や方針等を定めまして、それらについて本推進協議会において議論をいただいたとい

うことでございます。

ひょうか たんい くにたちし しさくきょうぎかい きほんしさく ぐたいてき
評価の単位につきましては、国立市しょうがいしゃ施策協議会において、基本施策における具体的

とりくみたんい こべつひょうか おこな さいしょ おこな さいしゅうてき ぜんたい おこな
な取組単位での個別評価は行わない、最初のほうは行っていましたが、最終的には全体として行

こべつひょうか おこな とりくみ たい いいん みなさま だ
うということになりましたので、個別評価は行わず、それぞれの取組に対して委員の皆様から出され

いけん もと きほんしさくたんい じっさい えー えー きほんしさく
た意見を基に、基本施策単位で、実際にはAの①ですとかAの②というようなものが基本施策になり

ひょうか おこな
ますので、そちらで評価を行ったというものでございます。

きほんしさく ひょうか もと ぐたいてき とりくみ たい かくごいけん いちばんさいご
なお、基本施策の評価の基となりました具体的な取組に対する各御意見につきましては、一番最後

ちゅうかんひょうか じぎょうじっせきとう いいんいけんいちらん すべ けいさい
のほうについておりますけれども、中間評価（事業実績等・委員意見一覧）に全て掲載されていると

いうものでございます。

つつ いこう ちゅうかんひょうかけっか さき み
続きまして、8ページ以降でございます。「中間評価結果」、こちらが先ほど見ていただきました

えー かみ よこ じっさい ほんぶん いちばんさいご きょうぎかいひょうか
A4の紙を横にしたものでございます。実際、本文となっているものは一番最後に「協議会評価」と

はい えー きほんしさく そうだん まち
なっているところが入っております。Aの①ですと、基本施策Aの①「相談しやすい街をつくるとと

ふくし じゅうじつ
もに、福祉サービスを充実させます」というものでございます。

みな 皆さんは、ずっと^{えー} A3の紙を^{かみ} 御覧^{ごらん} いただいていたので、こちらは^{しきく} どういう施策があるのかというの
は^わ 分かるかと思^{おも} いますけれども、^{ぜんぜんし} 全然知らない^{しみん} 市民の方^{かた} でいきなり^み これを見^{かた} た方は^{なに} 何の^い ことを言^い っ
ているのか^わ 分かり^{しんこうかんり} ませんので^{くだいてき} 進行^{とりくみ} 管理^と で、^と 具体的^と な取組^と については^と こうい^と うもの^と があ^と りまし^と たよ^と とい^と う
ところ^い でそれ^い ぞれ^い 入れ^い させ^い て^い だ^い だ^い きます。

これが^{えー} A3の紙^{かみ} ですと、^{さき} 先^み ほど^{えー} 見^{かみ} て^と いた^と だ^と いた^と A3の紙^と の「^と 取組^と 名^と 」^と とい^と うところ^と が^と 全^と 部^と 入^と っ^と て^と い^と い
る^と も^と の^と で^と ござ^と い^と ます。^と Aの^と ①^と ですと^と 12^と 事業^と ござ^と い^と ました^と の^と で、「^と 相^と 談^と 支^と 援^と 事^と 業^と 」^と から^と 「^と さ^と ま^と ざ^と ま^と な^と 相^と 談^と 支^と 援^と 事^と 業^と と^と の^と 連^と 携^と 強^と 化^と 」^と とい^と うところ^と ま^と で^と が^と 点^と 検^と ・^と 評^と 価^と の^と 指^と 標^と と^と なる^と 具^と 体^と 的^と な^と 取^と 組^と でした^と よ^と とい^と うも
の^と で^と ござ^と い^と ます。

^{つづ} 続^し き^と ま^と して、^と その^と 下^と 、^と 「^と 事^と 業^と 実^と 績^と 」^と 、^と 網^と 掛^と け^と が^と ち^と ょ^と っ^と と^と 薄^と い^と ん^と です^と け^と れ^と ども、^と 実^と 際^と には^と も^と う^と ち^と ょ^と っ^と と^と 濃^と くなる^と か^と と思^と います。^と 「^と 事^と 業^と 実^と 績^と 、^と 担^と 当^と 課^と に^と よ^と る^と 課^と 題^と ・^と 方^と 針^と 等^と 」^と とい^と うもの^と で^と ござ^と い^と ます。^と こ^と ち^と ら^と に^と つ^と き^と ま^と して^と は、^と 中^と 間^と 評^と 価^と 、^と 委^と 員^と 意^と 見^と 一^と 覧^と の^と と^と お^と り^と と^と な^と っ^と て^と お^と り^と ま^と して、^と それ^と ぞ^と れ^と の^と 項^と 目^と の^と さ^と わ^と り
とい^と うのは^と な^と かな^と 難^と しい^と です^と の^と で、^と 今^と 回^と の^と ペ^と ー^と ジ^と 数^と で^と 言^と う^と と^と 32^と ペ^と ー^と ジ^と 目^と 以^と 降^と を^と 御^と 覧^と いた^と だ^と け^と ます
で^と しょう^と か。^と こ^と ち^と ら^と に、^と 5^と 「^と 中^と 間^と 評^と 価^と (^と 事^と 業^と 実^と 績^と 等^と ・^と 委^と 員^と 意^と 見^と 一^と 覧^と) 」^と とい^と うもの^と を^と 載^と せ^と て^と お^と り^と ます。^と
^と 先^と ほど^と 見^と て^と いた^と だ^と いた^と A3の紙^と は^と 全^と て^と 載^と っ^と て^と いる^と とい^と うもの^と で^と ござ^と い^と ます。^と こ^と ち^と ら^と に^と 実^と 績^と が^と 載^と っ^と て^と お^と り^と ます^と とい^と うもの^と で^と ござ^と い^と ます。^と それ^と ぞ^と れ^と 項^と 目^と が^と 多^と 過^と ぎ^と ます^と の^と で、^と こ^と ち^と ら^と に^と は^と 載^と せ^と て^と い^と な^と い^と うこ
と^と で^と ござ^と い^と ます。

^{びー} P、^と こ^と の^と 異^と な^と っ^と て^と いる^と ところ^と は、^と 実^と 際^と 、^と 最^と 終^と 的^と に^と 確^と 定^と した^と 後^と に^と それ^と ぞ^と れ^と の^と 基^と 本^と 施^と 策^と ごと^と に^と すぐ^と ペ
ー^と ジ^と 数^と が^と 分^と かる^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例^と え^と ば、^と 先^と ほど^と 言^と っ^と た^と よ^と う^と に、^と こ^と ち^と ら^と の^と 事^と 務^と 局^と の^と ほう^と で^と 取^と り^と 回^と し^と を^と さ^と せ^と て^と いた^と だ^と け^と ます。^と 例

いました、こちらのAの①につきましてはPの32ページ目以降ですけれども、Aの②になりますと36ページになりますので、そういったところを見ていただく市民の方々にも分かりやすいように、Pの36ページ以降を見てくださいねという形でやらせていただいております。

中間評価は、先ほど御審議いただいて確定したものが載せてあります。

Aの②以降は同じようなつくりになっております。1枚めくっていただいて、「具体的な取組」についてもそれぞれ、例えば児童発達支援センターですとか保護者や家族会等の支援ですとか、そういったところ、御審議いただいたものが全部載っていて、同じような構造に基づいて、同じ指摘についても何ページを御覧くださいとなっていて、協議会評価を最終的に載せさせていただいております。

資料のページ数ですと最終的に70ページぐらいまでありますので、かなりのボリューム数になっております。ですので、同じ項目になっておりますので、御説明についてはこちらで割愛をさせていただきます。おも

事務局からは以上でございます。

【綿会長】 ありがとうございます。中間評価報告書についてですけれども、何か御意見はありますでしょうか。今まで話し合ってきたことがまとめてある内容ですので。

【寺島委員】 これは、紙の大きさはどのくらいになるんですか。このままの大きさになるんですか。

ちょっと小さくて、視覚しょうがいの人には見えないんじゃないかと思ひまして。

【事務局】 こちらは、実際は紙ではなくてホームページ上に掲載させていただきます。PDFでは、ぼちとしてA3が出てしまうと、皆さんが印刷したときに大変になってしまいますので、基本的

には、^{せってい}設定としては^{えー}A4をやらせていただこうかなと思っています。ですので、このまま、このサイズという^{かたち}ような形でやらせていただければと思います。確かに^{おち}私も^{たし}ちょっと^{わたし}見づらい^みところはございます。

^{わたかいちょう}【綿会長】 そのほか、いかがですか。^{しちょう}市長にこのサイズのものを^{とうしん}答申^{かん}する感じですかね。それは^{いんさつぶつ}印刷物ですか。

^{じむきょく}【事務局】 そうですね、^{いんさつぶつ}印刷物として^だ出します。

^{わたかいちょう}【綿会長】 では、これは、^{せいほん}製本というのはないということですか。

^{じむきょく}【事務局】 ^{せいほん}製本はしない^{よてい}予定です。ホームページ^{じょう}上の^{けいさい}掲載でおしまいでございます。

^{てらしまいいん}【寺島委員】 ホームページに^{けいさい}掲載されるということなので、HTMLとかPDFとか、^{えいちていーえむえる}どっちでもいいんですけれども、^{りよう}スクリーンリーダーとか、^{かくにん}そういうのがちゃんと利用できるようなものを^か確認して^{しかく}いただいて、^{かた}視覚^よしょうがいの方が^よきちんと読める^よフォーマットを^よやっていた^よいただきたい^よということです。

^{じむきょく}【事務局】 ありがとうございます。^{じっさい}実際、^{びーていーえむ}PDFを^{つか}使わせて^{ぜんかい}いただいて、^{けいかく}前回、^{だんかい}計画の^{えいちていーえむえる}段階^{けいさい}ではHTMLベースで^{おち}作成^{おな}させていただいた^{えいちていーえむえる}と思いますので、^{けいさい}同じようにHTMLベースでの^よ掲載^よを^よすれば^よ読み^{おち}上げ^よソフトで^よ読めるか^よと思いますので、^{かたち}そのような^{たいおう}形で^{おち}対応^{おち}させていただきたい^{おち}と思います。

^{わたかいちょう}【綿会長】 ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

では、^{とく}特に^{さいしゅうてき}最終^{ほうこくしょ}的な^{かん}報告^{こいけん}書^あに^{けいび}関^あして^あ御^あ意見^あが^ああり^あませ^あん^あで^あした^あので、^あまた^あもし^あこの^あ後^あ、^あ軽^あ微^あな

ものがあれば修正の案を出してもらって、最終的には、会長一任での直しという形でお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。特に御異議はございませんでしたので、そのように取り扱わせていただければと思いますし、本中間評価の最終的な手続について、この後、事務局より御説明をお願いいたします。

【事務局】先ほど御確認させていただきましたとおり、修正等は、例えば状況が少し、書きぶり等、変更する可能性はありますけれども、最終的には事務局で確認させていただいて、会長に御確認いただいた後、完成版を事務局から各委員に御送付させていただきます。また、確定後に協議会を代表させていただきます。会長から市長に対してこの報告書に頭とか、鏡文がつきます。このように答申しますという紙がついて、市長に答申をしていただきます。

通常ですと、その様子を写真撮影させていただいて、市報に、市長が答申を受けましたというような掲載をさせていただきます。掲載は、その完成版の用意ができてからということになりますので、日程等は事務局から皆様にお知らせいたしますので、もし御参加いただける委員の方々はぜひ御参加いただければと思います。前回ですと何人か御参加いただいて写真撮影をしたというような記憶もございませんので、ぜひ御参加いただければと思います。

【綿会長】 これをもって中間評価を終えたいと思いますので、ありがとうございました。

それでは、次第4のその他を事務局より御説明をお願いします。

【事務局】 中間評価につきまして、長い間、御審議いただきまして誠にありがとうございました。

じかい いちばんだいじ じ きけいかく さくてい はい ひ つづ ねが
次回より、一番大事な次期計画の策定に入りますので引き続きよろしくお願いいたします。

じかい きょうぎかい れいわ ねん がつ にちもくようび ばしょ おな かい だい だい
次回の協議会は、令和5年8月31日木曜日でございます。場所は、同じくこちら3階の第1、第2

かいぎしつ ねが
会議室となりますので、よろしくお願いいたします。

わたかいちょう いちおう ちゅうかんひょうか お じかい けいかくさくてい
【綿会長】 ありがとうございます。一応これで中間評価が終わりましたので、次回から計画策定

うつ おも じかい がつ にち じ あらた じむきょく かいさい
のほうに移れるかと思えます。次回が8月31日の7時からということで、また改めて事務局から開催

つうちなど とど おも こよてい ねが おも
通知等が届くと思いますが、御予定のほう、よろしくお願いしたいと思います。

ほんじつ だい かいしきくすいしんきょうぎかい お おも
それでは、本日の第10回施策推進協議会は終わらせていただければと思います。どうもありがと

うございました。